

スィンティ・ロマなどマイノリティに対する 保護策を求めるドイツ政府へのアピール

IMADR 理事会メンバーは3月30日、スィンティ・ロマをはじめドイツのマイノリティの人びとに対する人種差別をなくすための政策の実施を求める、ドイツ連邦政府ナショナル・マイノリティ担当長官宛ての申し入れ書を提出し、同政府担当者とは会見しました。申し入れ書では、とくにインターネット上などでスィンティ・ロマに向けられる人種差別的な憎悪表現がはびこっている事態に鑑み、そうした人種主義的憎悪を流布するウェブサイトの規制・訴追のための監督機関のメンバーに、ドイツ・スィンティ・ロマ中央委員会の代表者を参加させることを求めています。

以下が申し入れ書の全文です。

反差別国際運動 (IMADR) アピール

ドイツ連邦政府ナショナル・マイノリティ担当長官殿

2009年3月30日

ベルリン・ドイツ連邦政府内務省内にて

反差別国際運動 (IMADR) 理事会は、国際的人権活動家による運動として、ドイツ政府に対し、差別からのマイノリティ保護のためのより強力な施策を実施するよう要請します。ベルリンで開催した理事会において、IMADR 諸理事は、とくにスィンティ・ロマに向けられるヘイト・スピーチ、およびインターネット上の人種主義的プロパガンダに関して懸念を表明しました。

上記のような極右的ヘイト・ウェブサイトによる脅威からの保護策を構築するための一歩として、私たちは、ドイツ連邦政府ナショナル・マイノリティ担当長官に対し、以下を要望します。すなわち、マイノリティ・グループに対する人種主義的憎悪を流布するインターネット上の極右 (ネオ・ナチ) ウェブサイトの規制・訴追を任務に持つ新メディア監督機関のメンバーに、ドイツ・スィンティ・ロマ中央委員会の代表者を参加させることです。IMADR は、国連・人種差別撤廃委員会 (CERD) による、ドイツ政府に対し「インターネット上の人種主義的プロパガンダを含む、人種主義を動機とする犯罪行為を防止するため努力を強化する」ことを求めた2008年8月の勧告 (CERD/C/DEU/CO/18, No.16) を喚起したいと考えます。加えてIMADR は、インターネット上のサーチエンジンである「グーグル (Google)」を通じて、ドイツで違法な団体とされている「ランザー」というバンドによる「ツィゴイネル・パック」などの過激な楽曲や、サッカー・ファンサイト上の差別的スローガンが世界的に配信されていることにも懸念を持っています。



ドイツ連邦政府内務省でナショナル・マイノリティ問題を担当するデトレブ・ライン博士 (奥・中央) と会談するIMADR役員ら (2009年3月30日、ベルリン)